

なかすじがわ
中筋川総合開発事業

よこぜがわ
横瀬川ダムの検証に係る検討

報告書 補足資料

平成 25 年 1 月

国土交通省四国地方整備局

目 次

2. 横瀬川ダムの概要	1
①横瀬川ダムの目的	1
②横瀬川ダムの位置	1
③横瀬川ダムの諸元等	1
④横瀬川ダム建設事業の経過・進捗状況	1

2. 横瀬川ダムの概要

① 横瀬川ダムの目的

横瀬川ダムは、渡川水系中筋川支川横瀬川の高知県宿毛市山奈町において事業中の多目的ダムで、洪水調節、流水の正常な機能の維持、水道用水の供給を目的としている。

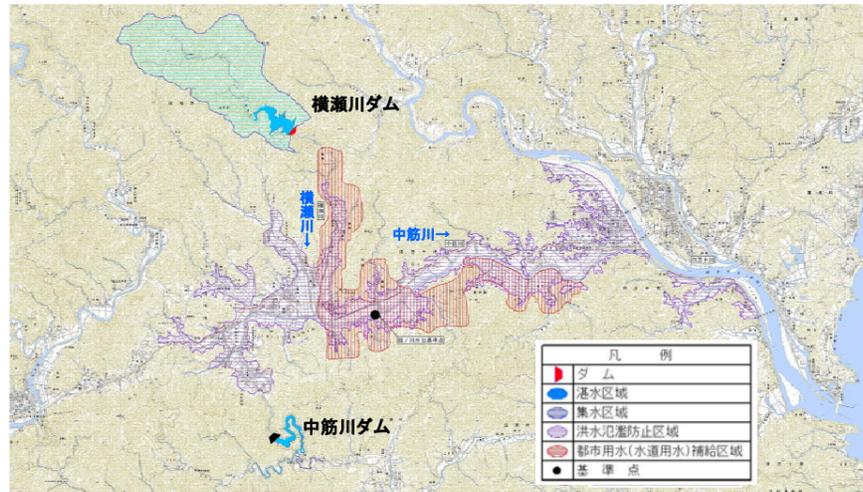


図 2-1 横瀬川ダム位置図

(1) 洪水調節

横瀬川ダムの建設される地点における流入量 $210\text{m}^3/\text{s}$ のうち $140\text{m}^3/\text{s}$ の洪水調節を行う。

(2) 流水の正常な機能の維持

横瀬川及び中筋川下流の既得用水の補給等、流水の正常な機能の維持と増進を図る。

(3) 水道用水

四万十市に対し、新たに1日最大 800m^3 の水道用水の取水を可能ならしめる。

② 横瀬川ダムの位置

渡川水系横瀬川

左岸 高知県宿毛市山奈町山田

右岸 高知県宿毛市山奈町山田

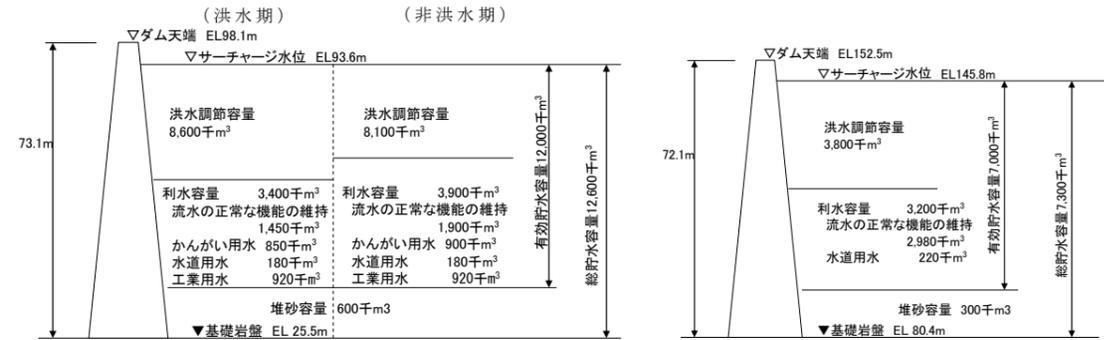
③ 横瀬川ダムの諸元等

中筋川ダム諸元

- ・型式 重力式コンクリートダム
- ・総貯水量 $12,600,000\text{m}^3$
- ・有効貯水量 $12,000,000\text{m}^3$
- ・堤高 73.1m
- ・堤頂長 217.5m
- ・湛水面積 0.7km^2
- ・集水面積 21.1km^2

横瀬川ダム諸元

- ・型式 重力式コンクリートダム
- ・総貯水量 $7,300,000\text{m}^3$
- ・有効貯水量 $7,000,000\text{m}^3$
- ・堤高 72.1m
- ・堤頂長 188.5m
- ・湛水面積 0.4km^2
- ・集水面積 11.4km^2



【中筋川ダム (平成11年完成)】

【横瀬川ダム】

図 2-2 中筋川総合開発建設事業における2ダムの貯水池容量配分図

④ 横瀬川ダム建設事業の経過・進捗状況

(1) 事業の経過

表 2-1 横瀬川ダム建設事業の経緯

年月	主な内容
昭和56年	高知県にて地形・地質調査を実施
昭和58年3月	渡川水系工事実施基本計画改定 (中筋川の洪水調節施設として中筋川ダム、横瀬川ダム共に位置付けられる)
平成2年6月	中筋川ダムと併せて「中筋川総合開発事業」として着手
平成7年3月	横瀬川ダムを水源とする「西部統合簡易水道施設整備事業(中村市)」認可
平成13年12月	渡川水系中筋川河川整備計画策定(横瀬川ダムが位置づけられる)
平成14年6月	横瀬川ダムの建設に関する基本計画の告示
平成15年4月	工事用及び付替え道路建設工事着手
平成16年2月	用地買収開始
平成16年3月	横瀬川ダム建設事業に伴う山林保全措置制度に係る基本協定書締結
平成20年7月	横瀬川ダムの建設に関する基本計画変更の告示
平成20年9月	内水面漁協に関する損失補償契約を締結
平成21年2月	渡川水系河川整備基本方針策定
平成21年12月	新たな基準に沿った検証の対象とするダム事業に選定
平成23年3月	仮排水路トンネル完成

(2) 現在の進捗状況(平成24年3月末現在)

項目	進捗状況	残
用地取得 (52ha)	88% (46ha)	
家屋移転 (8世帯)	100% (8世帯)	
付替市道 (5.5km)	42% (2.3km)	残: 付替市道大物川線
工事用道路 (3.5km)	76% (2.7km)	残: ダム本体関連の工事用道路等
ダム本体及び関連工事	仮排水路トンネル (H23年3月完成)	残: ダム本体(基礎掘削、基礎処理、本体打設、管理設備等)及び関連工事

図 2-3 事業進捗状況 (平成24年3月末現在)